

八丈島 水産だより

5月号
2023年



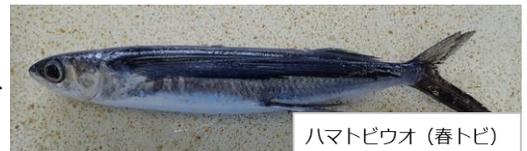
5月に入り、島のいたるところで鯉のぼりを目にするようになりました。晴れた空を大きな鯉のぼりが泳ぐ姿は圧巻です。

さて、新型コロナウイルスも5月から新たな段階に移行し、島内外で少しずつイベントが復活しています。5月3日～5日は「八丈祭」が、5月13日～14日は港区の竹芝で「島じまん2023」が開催されます。自粛期間を乗り越えた八丈島にも、従来の活気が戻ってくる日が近そうです！

■ 最近の漁模様

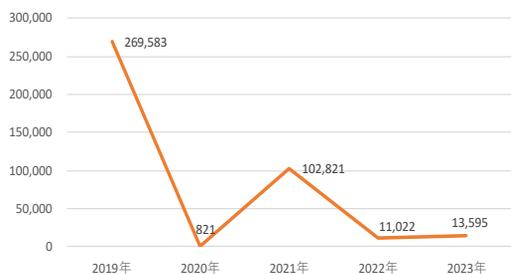
今年も3月からハマトビウオ漁が行われました。ハマトビウオは八丈島に春の訪れを知らせる魚であり、八丈町の魚に指定され、「春トビ」という呼び名で親しまれています。

近年漁獲量の減少が著しい魚種ですが、今年の漁獲量は前年と比較して微増となりました。ハマトビウオは「島寿司」や「くさや」、「学校給食用の加工原料」などにも使われる魚であるため、来期の漁獲に期待したいですね。



ハマトビウオ（春トビ）

（尾） ハマトビウオ漁獲量推移



■ 待ちに待った朝市再開！！



八丈産キメジを使ったツナパン

4月29日に底土船客待合所3階にて、漁協女性部による朝市が開催されました。約4年ぶりの開催とあって、会場は大盛況。用意した総菜などは飛ぶように売れていきました。来場者からは、「この日を心待ちにしていた。」「お惣菜美味しいんだよね。」といった声が多数聞かれ、皆が再開を待ち望んでいた様子がかがえました。朝市は今後も定期的開催していく予定です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。